

SUNTORY

サントリーの水理念と サステナビリティの取り組み

2025年11月26日
サントリーホールディングス株式会社
サステナビリティ経営推進本部 部長
気候変動・生物多様性統括
瀬田玄通

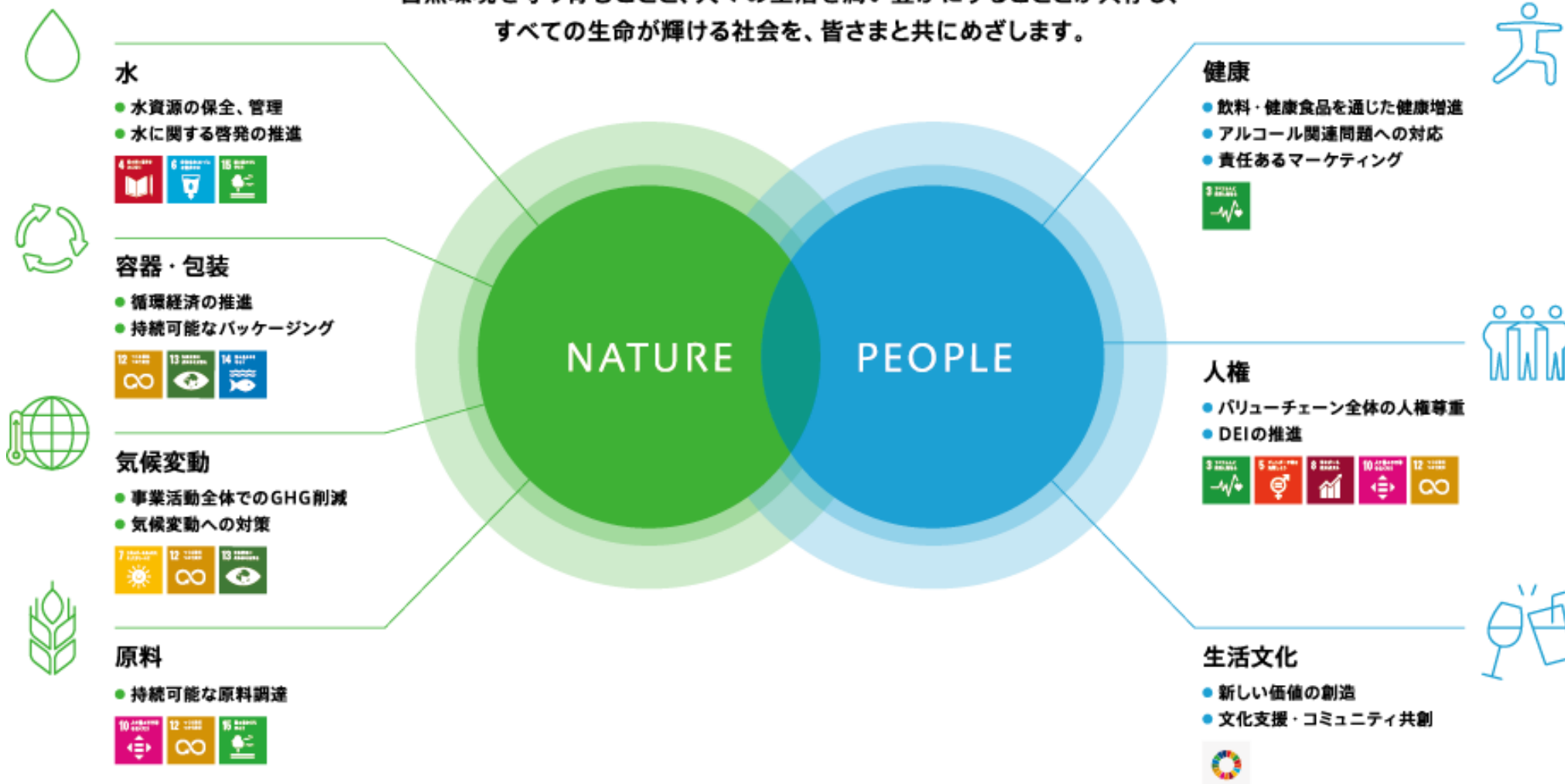
わたしたちの目的 Our Purpose サントリーグループが事業を営む目的、企業としてめざす方向性

いのち
人と自然と響きあい、豊かな生活文化を創造し、「人間の生命の輝き」をめざす。



人と自然と響きあう社会の実現へ

サントリーグループは、水や農作物など自然の恵みに支えられた総合酒類食品企業として、自然環境を守り育むことと、人々の生活を潤い豊かにすることが共存し、すべての生命が輝ける社会を、皆さまと共にめざします。



2017年制定

サントリーグループ

水理念

01 水循環を知る

使用する水の循環について科学的アプローチに従って流域を調べ、理解を深めます。

02 大切に使う

水の3R(Reduce/Reuse/Recycle)活動を通じて節水に努め、浄化した水は自然に還し、環境インパクトを軽減します。

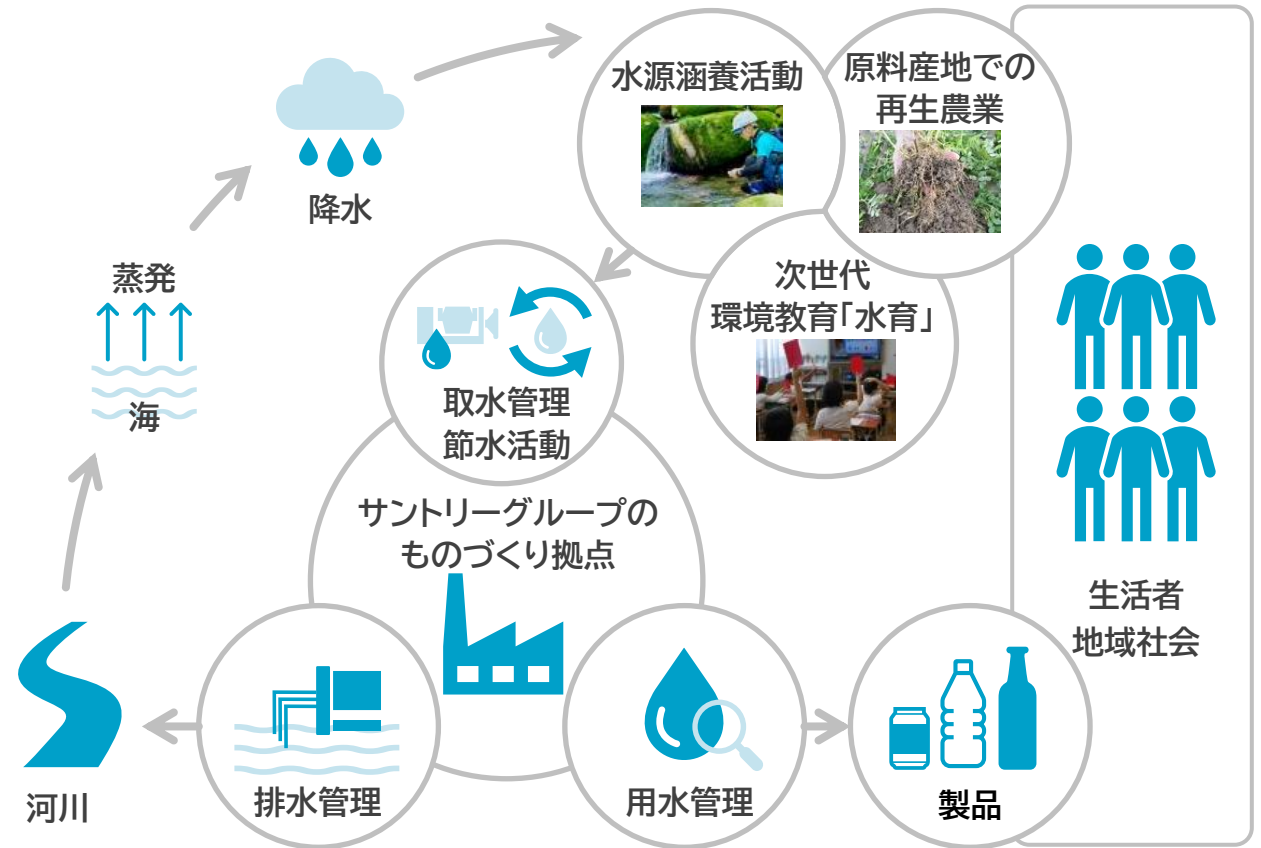
03 水源を守る

サステナブルな未来を実現していくため、ステークホルダーと協力しながら使用する水の水源保全に努めます。

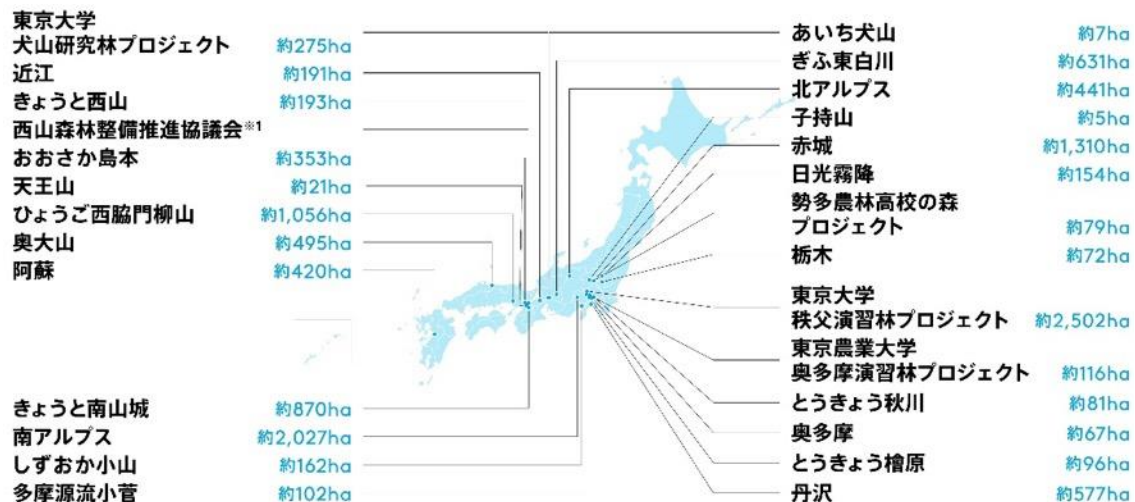
04 地域社会と共に取組む

社会が豊かになるように、水課題の解決への貢献を通じて地域コミュニティを支援します。

流域全体での包括的な取り組み



● 活動実績 (2024年8月現在)



※1 京都府長岡京市では、「西山森林整備推進協議会」のメンバーとして、地域の方々と協働して森林保全活動にあたっています。この活動の面積は「天然水の森」の総面積に算入していません。

● 活動のポイント

歴史 2003年、熊本県阿蘇で開始

科学的根拠 40名超の多彩な専門家と共に活動

長期的視点 森ごとに「長期ビジョン」を作成

- 整備目標**
- ・ 高い水源涵養機能を持った森林
 - ・ 生物多様性に富んだ森林
 - ・ 洪水・土砂災害などに強い森林
 - ・ CO2の吸収力の高い森林
 - ・ 豊かな自然と触れ合える美しい森林

16都府県・26カ所・12,000ha超(山手線内側の約2倍)

国内工場で汲み上げる地下水量の2倍以上を涵養し、“ウォーター・ポジティブ*”を実現

*サントリーグループでは、取水量以上の水を水系に育むことを「ウォーター・ポジティブ」と考えています。

■ 天然水の森活動の鍵となる、豊かな地下水を育む「ふかふかの土」

豊かな地下水を育むふかふかの土をつくるためには、適切に間伐することで日光が入る明るい森にし、下草や低木が生え、土壌生物が育つ環境を作ることが重要です。



手入れされていない
暗い森

生態ピラミッド



×

×

×

×

×

天然水の森活動

森の整備
(間伐)

日光

下草・低木

多くの土壌生物

ふかふかの土

豊かな地下水

手入れされた
明るい森



生態ピラミッド



◎

◎

◎

◎

◎

伐採した木の活用と自然にやさしい作業道

SUNTORY

森に光を入れ、さまざまな木や草が育つ多様性に満ちた環境に誘導するためには、丁寧な植生調査をしたうえで、残す木と伐る木を選ぶ必要があります。伐った木を、「育林材」として大切に有効利用しています。

サントリー 天然水の森

育林材®



PRONTOのテーブル



長野県大町運動公園のベンチ

「天然水の森」では、「大橋式」や「田邊式」と呼ばれる自然にやさしく、コストパフォーマンスに優れ、丈夫で長持ちする作業道づくりを推奨しています。優れた技術を受け継ぐ多くの人材を育てるために、講習会や、集中研修を行っています。



「大橋式」の講習会



「田邊式」の講習会

■ ネイチャーポジティブへの貢献

「生物多様性のための30by30アライアンス」において、
「天然水の森」の6カ所が「自然共生サイト」に認定されており、これは国内企業として最多です。

2022年COP15で採択

30by30目標

2030年までに、**陸と海の**
30%以上を健全な生態系とし
て効果的に保全しようとする
グローバルな目標



目標	30%	30%
日本	20.5%	13.3%

※出典：環境省3by30 HP 「30by30の概要について」

生物多様性のための 30by30アライアンス



- ✓ 日本における目標達成のため、有志により発足（事務局：環境省）
- ✓ 地域・企業・団体によって生物多様性の保全が図られている土地を「**自然共生サイト（OECM）**」として国際データベースに登録し、その保全を促進

サントリーは2022年4月に加盟

国内企業
最多

8カ所の天然水の森が
「自然共生サイト」に認定

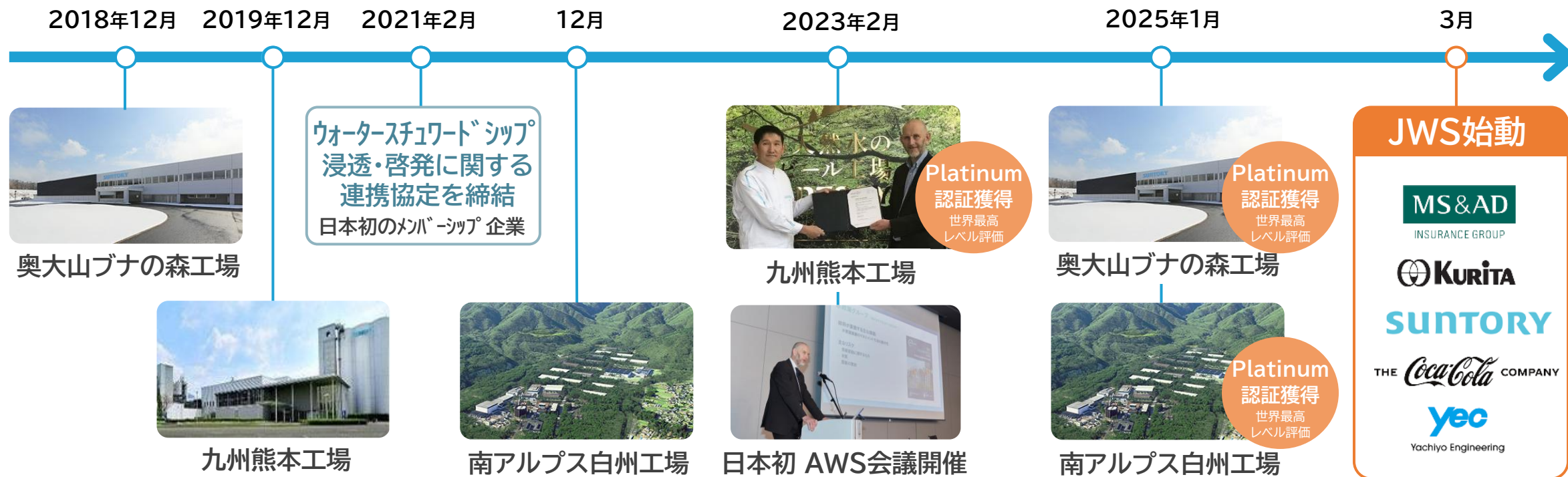
2025年
現在



ウォータースチュワードシップの日本への浸透・普及

—Alliance for water stewardshipとの連携—

SUNTORY



**Alliance for Water Stewardshipと長く連携し、
日本におけるウォータースチュワードシップの浸透・普及をリード**

熊本地域※におけるサントリーのウォータースチュワードシップ

SUNTORY

● 水の国 くまもと



九州熊本工場



熊本地域は、約100万人の水道水をほぼ100%地下水で賄う

● サントリー九州熊本工場のウォータースチュワードシップ活動

下流

下六嘉湧水群の浮島神社での工場従業員による清掃活動



浮島神社



神社での清掃活動

工場排水の水質管理



工場排水処理



放流河川の水質評価

「次世代環境教育 水育」



井戸の取水管理と節水活動



点検による水使用量の適正化



計器による地下水取水の最適化

工場敷地内

上流

大麦の再生農業パイロット(英国)



英国の大麦サプライヤーと農業協同組合らとの連携によるパイロットスタディ

「冬水たんぼ」による地下水涵養



冬季水田湛水



農家向けの説明会

「天然水の森」における地下水涵養



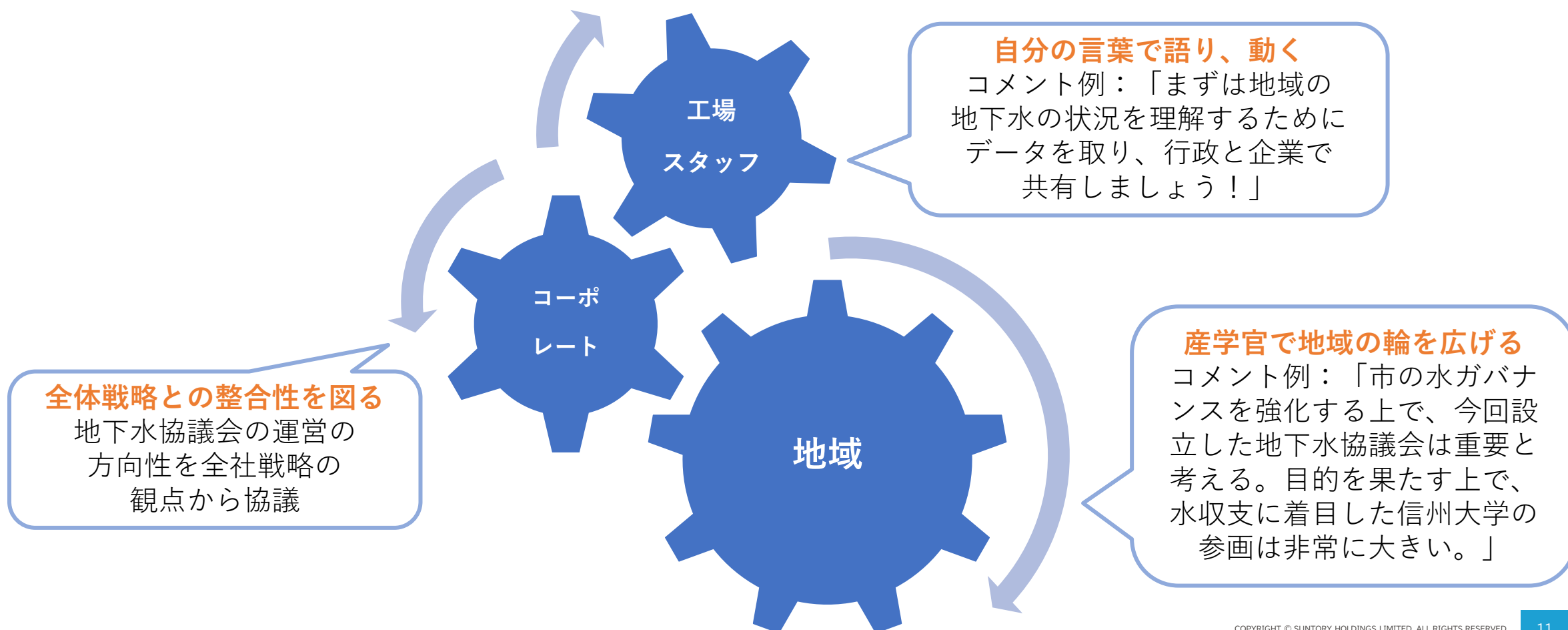
「天然水の森」



林業作業道の作道

※熊本地域：熊本市、菊池市（旧泗水町・旧旭志村）、宇土市、合志市、大津町、菊陽町、西原村、御船町、嘉島町、益城町、甲佐町からなる11市町村

ローカルで共有する資源である「水」を現場の工場スタッフを起点として「流域」での価値を認識し、地域活性や企業連携の機会を創出する



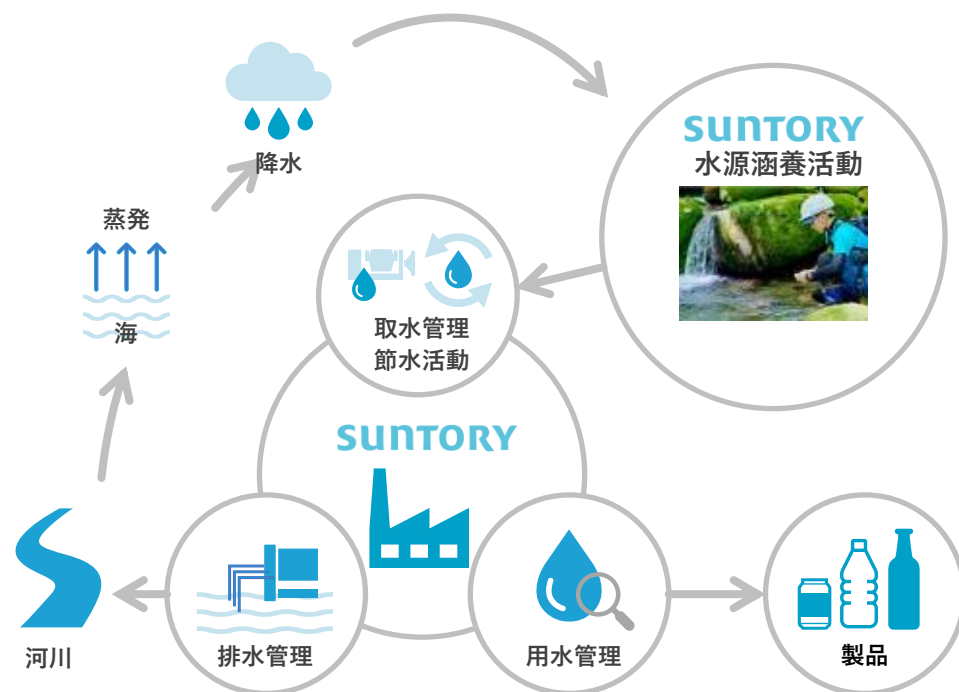
■ 地域の多様な主体が一体で取り組む水資源保全へ

SUNTORY

気候変動による水資源の季節変動の偏在化やAI産業の発展で増える水使用を背景に、地域一体での水資源保全に取り組む必要性が高まっています。

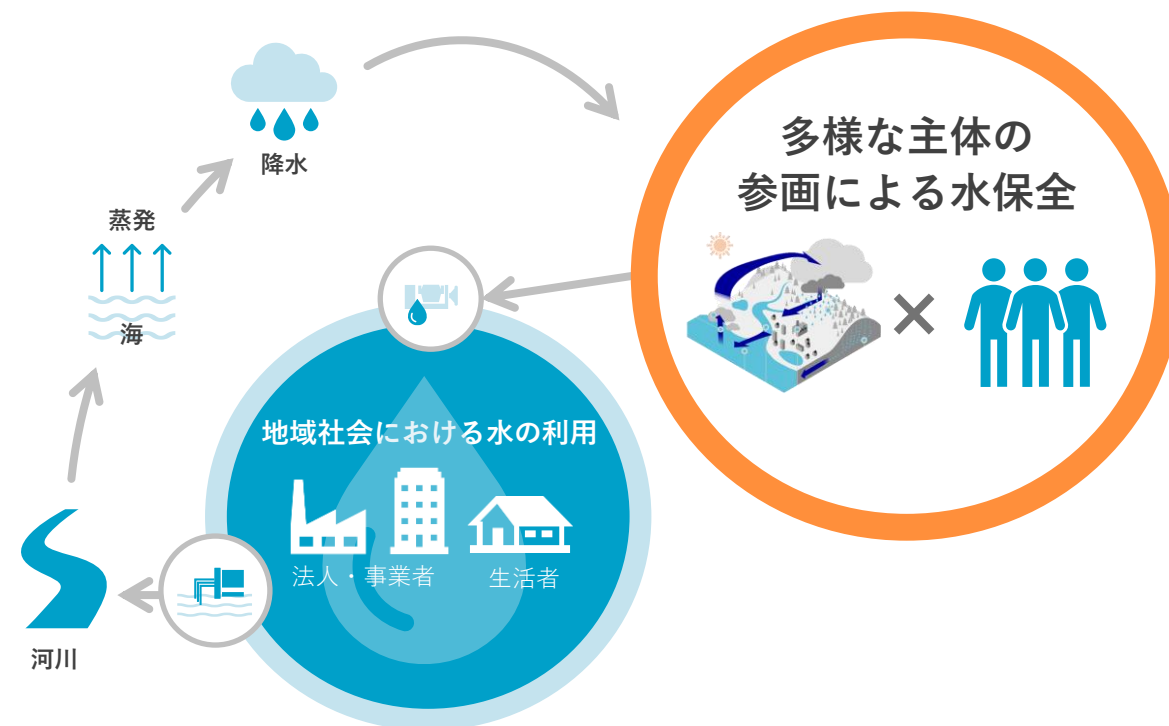
これまで

サントリーが使用した以上の水を地域へお戻しする



これから

地域の多様な主体が**一体**で**水資源保全**に取り組む





水と生きる SUNTORY



Harumichi_Seta@Suntory.co.jp